

デジタル水晶玉：高齢者の生活のデータベース・分析・デザイン支援

生活の深い理解に基づく製品・サービスの提供・デザインを支援

- WHO 国際生活機能分類に準拠した国際標準のデータベース
- 高齢者の生活ニーズと地域サービスのマッチングを支援
- 高齢者の生活理解、日常生活を支援するサービス・製品設計、製品安全を支援

関連技術分野：生活支援、デジタルヒューマン、生活安全
連携先業種：サービス業、医療・福祉業、製造業（機械）

研究のねらい

高齢者、障害者といった多様な機能変化がある人々が、安全に生活でき、その能力が最大限引き出されることで、創造的な社会構築のために活躍できる「生活機能変化レジリエント社会」の創造が求められます。そのためには、私たちの生活機能の変化を記録し、変化に応じて、必要なサービスを提供することで生活をデザインする科学的な方法論が不可欠です。本研究では、WHOが提唱する国際生活機能分類のICFコードに準拠した再利用性の高いデータベースを用いて、隠れたニーズを抽出したり、あり得る生活を提案する技術を開発しています。

研究内容

高齢者の職歴スキルや、障害がある場合にはその情報を入力し、過去の有効であった健康支援サービス事例や地域サービスを検索することで、健康支援や高度社会参加に結び付く生活アドバイスと、そのために地域で利用可能な支援サービスを提示する技術「デジタル水晶玉(個人適合サービス検索ソフトウェア)」を開発しました。本ソフトウェアにより、高齢者の潜在的な生活と地域のサービス機能を引き出し、結び付ける新たな健康支援・見守りサービスが可能となります。



生活記録・分析・デザイン支援

連携可能な技術・知財

- 個人の生活状況に合わせたサービス検索が可能
 - ① 類似した健康状態の人が利用するサービス
 - ② 低下してきた生活機能を補うサービス
 - ③ 趣味・楽しみ・生きがいを満たすサービス
- 世界保健機関 (WHO) の推奨する国際機能分類 (ICF) に準拠した表現を採用しており、他地域への適用が可能



社会参加地図技術

■ 研究担当：西田 佳史 / 北村 光司

■ 所属：産業技術総合研究所 人工知能研究センター

■ 連絡先：k.kitamura@aist.go.jp

● 研究拠点
産総研 臨海副都心